

# 令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区宇喜田第二保育園

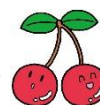
## テーマ「 光を使った遊び 」



本園の園庭は午前中、太陽の光が入りにくい場所です。昨年度は4歳児を中心に「光と影の探求」をテーマに楽しんでできました。1年間クラスで光遊びを楽しむ中で、今年度、年長組になった子どもたちの姿を見て、小さなクラスもライトを手に取り、それぞれの年齢で光遊びを楽しんでいました。



### 1歳児 さくらんぼ組



たまご型と雪だるまのライトを見て「なにかな？」と不思議そうに見ている子どもたち。棚の中に入れてみると壁に反射して「キラキラ～」「わあ～！」と興味津々で光っている様子を見て楽しんでいます。

### 2歳児 いちご組



段ボールと黒い不織布を使用し暗い家を作ると、光る人形を持ち「お家に入ろう」と入って遊び始めます。「あ、色が変わった！」「みどりになったね」と色の変化に気づき楽しんでいます。



### 3歳児 みかん組



クリスタルチップにライトを当てて、「みて～ハートだよ。」「きれい。」ときれいに映る光を教えてくださいました。それを見ていた子どもも、真似をしていました。とてもきれいに壁に映って嬉しそうにしています。





#### 4 歳児 めろん組



段ボールの囲いを作り、黒い不織布で暗いコーナーを作るとライトで光るクリスタルブロックを持ってきて「きれい!」「ピンクだよ」「ピンクが混ざって見えるね」と友達と色が変わっていく様子を観察しています。

#### 5 歳児 ぶどう組



自分たちで光遊びコーナーに行くと好きなライトを手に取ります。「ねー、これを照らしてみたらどう見える?」「綺麗だね」「他の紙と重ねたらどう?」「試してみる?」試す役と見る役と役割分担をして意見を出し合い、光り方や色の変化を楽しんでいます。



#### まとめ

5 歳児の子どもたちにとって、自分のやりたい時に自ら試し遊ぶ事が当たり前になった光遊びです。それが 1 人だけでなく数人に増え、クラスみんなで遊ぶ楽しさへと広がってきました。5 歳児に遊びに来た 4 歳児が「これやっていい?」とライトに触れて遊んだ日がありました。クラスの前を通りかかった 2 歳児に「みてみて」と声をかけて光遊びを見せたりもしました。隣のクラスからのぞきながら興味を示した 3 歳児などの姿がありました。それぞれのクラスが小さな空間で自分たちの光遊びを楽しむ事につながっていききました。変化が目の前でおこる光遊びを各クラスが遊ぶ中で、ホットしたりわくわくしたりする時間になったと思います。今後も子どもたちのやりたいと思った瞬間を大事にしながら環境を整え、光遊びを通し、子どもたちの探求心を育てていきたいと思っています。